

# 東京都 スポーツ推進委員だより

第126号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2022年 3月 31日

編集：情報委員会

社員総会



## 令和4年度事業方針・事業計画概要

### 【方 針】

世界では、新型コロナウイルスの感染者数が4億4千3百万人を超えて（3月5日現在）なお収まるところを知らず、思いもよらなかった、力による現状変更が強行されるなど不穏な状況が続いています。国内では、新型コロナウイルスの猛威が収まらず、昨年の今頃の感染者数は43万人を超えた状況であったものが、第6波の最中の現在では535万人にも達し、18都道府県においてはまん延防止等重点措置の期間が延長されるなど、引き続き感染防止対策を徹底していくことが求められています。

スポーツ界では、中国北京でオリンピック・パラリンピック大会が開催され、いずれの大会でも日本選手が素晴らしい活躍を見せ、勇気と感動をもたらしています。

こうした中、日本のスポーツ振興の根幹を成す第3期スポーツ基本計画の答申素案が発表され、パブリックコメントを経て3月末までには策定される見通しとなっています。この案では、国民が「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、①社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に対応するというスポーツを「つくる／はぐくむ」という視点、② 様々な立場・背景・特性を有した人・組織が「あつまり」、「ともに」活動し、「つながり」を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指すという視点、③ 性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人々がスポーツにアクセスできるような社会の実現・機運の醸成を目指すという視点、の三つの新たな視点が必要になると考えられる、としています。そして、成人の週1回以上のスポーツ実施率を70%（障がい者は40%）に改めるとともに、1年に一度以上スポーツを実施する成人の割合を100%に近づける（障害者は60%を目指す）としています。また、学校部活動の地域移行についても着実に推進するとされています。

東京都においては、昨年3月に発表された「未来の東京戦略」にスポーツが日常生活に溶け込んでいる「スポーツフィールド・東京」が位置づけられ、誰もが望む場所で、望むスポーツを気軽に行うことができる環境を整え、スポーツやパラスポーツを至る所で「する・みる・支える」ことができる社会を目指しています。

今年1月には「TOKYO スポーツレガシービジョン」も発表され、2020東京大会の成果が実感される今、それを今後どうスポーツの振興に活かし、都市の中で根付かせていくか、その姿を示すための方向性が示されました。その中では、大会で脚光を浴びたパラスポーツの盛り上がりをもっと高め、障害の有無を問わずパラスポーツを楽しみ、観戦し、交流するための取組を推進して共生社会の実現に貢献していくとしています。

令和4年度は、これらの時代背景や新たな動きに適切に対応していけるよう、東京都と連携して、スポーツ推進委員の資質向上に向けた事業を展開していきます。

皆さまのご理解、ご協力を得ながら進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

### 【会 議】

#### 1. 社員総会

- 第1回 5月21日(土) 文京区区民センター、  
文京シビックセンター
- 第2回 9月28日(水) 武蔵野公会堂
- 第3回 12月7日(水) 江東区深川スポーツセンター、  
毬乃
- 第4回 3月22日(水) 武蔵野公会堂

2. 理事会 4月13日、5月11日、6月8日、  
7月13日、9月14日、10月12日、11月9日、  
1月11日、2月8日、3月8日

3. 各委員会 随時開催

4. 会長会 6月19日(日) 中野区産業振興センター

5. 監事監査 5月 日( )

6. 表彰審査会

4月17日(日)：関東大会功績者及び都スポ協功労者

5月 日( )：全国大会功労者等 都スポ協事務所

7. その他 特別委員会は必要に応じ随時開催

### 【事 業】

#### 1. 東京都共催事業(予定)

(1) 広域地区別研修会

・広域地区別研修会開催地区(会場は予定)

地区	担当地区	期 日	会 場
1B	新宿区	7月2日(土)	新宿区四谷スポーツスクエア
2B	台東区	8月6日(土)	台東リバーサイドスポーツセンター
3B	渋谷区	7月2日(土) 予定	渋谷区役所
4B	板橋区	10月22日 (土)	板橋区立ハイライフプラザ内ホール
5B	江戸川区	10月1日 (土)	タワーホール船堀
6B	八王子市	9月10日 (土)	八王子市市役所会議室・体育館
7B	穂積町	9月10日 (土)	穂積中央体育館
8B	昭島市	7月23日 (土)	昭島市民会館 小ホール
9B	府中市	9月10日 (土)	市民センタープラッツ
10B	東久留米市	9月17日 (土)	東久留米市スポーツセンター
11B	神津島村・新島村	11月25日 (金)	ニューピア竹芝サウスタワー会議室

・ブロック責任者会議(令和5年度 担当地区):  
7月13日(水) ※変更の可能性あり

## (2)課題別研修会

研修会名	期日	会場
障がい者スポーツの普及に向けて(仮)	11月 日 ( )	未定

## (3)地域スポーツ支援研修会(会場は予定)

研修会名	期日	会場
地域スポーツ支援研修会(区部)	1月21日 (土)	港区男女参画センター『リーブラ』
地域スポーツ支援研修会(市町村部)	2月11日 (土)	立川市女性総合センター『アイム』
地域スポーツ支援研修会(全域)	未定	未定

## (4)初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

日程: ① 7/23(土) ② 7/24(土)  
③ 8/6(土) ④ 8/13(土) ⑤ 8/14(日)  
会場: 中央区立総合スポーツセンター

## (5)中級障がい者スポーツ指導員養成講習会

日程: ① 10/15(土) ② 10/16(日)  
③ 10/22(土) ④ 11/5(土) ⑤ 11/12(土)  
⑥ 11/20(日) ⑦ 11/27(日) ⑧ 12/3(土)  
⑨ 12/4(日)  
会場: ①②③: 武蔵野の森スポーツプラザ  
④⑤⑧: くにたち市民総合体育館  
⑥⑦⑨: 四谷スポーツスクエア

## 2. 自主事業

### (1)研修事業

研修会名	期日	会場
初任者講習会	5月28日(土)	オンラインも含めて検討
ニュースポーツ	6月25日(土)	大森スポーツセンター
実務研修会	8月20or27日(土)	未定
交流ボッチャ大会	未定	未定

(2)東京都スポーツ推進委員だより及びホームページの配信

(3)調査研究・資料収集

(4)顕彰(スポーツ推進委員功労者の表彰)

- ① (一社)東京都スポーツ推進委員協議会の表彰(功労者、感謝状、特別表彰)
- ② (公社)全国スポーツ推進委員連合の被表彰候補者の推薦(団体と個人)
- ③ 関東スポーツ推進委員協議会の被表彰候補者の推薦

## 3. 派遣事業

- (1)関東スポーツ推進委員研究大会 6月3日(金) 神奈川県横浜市
- (2)第63回全国スポーツ推進委員研究協議会 11月17日(木)~18日(金) 滋賀県草津市
- (3)生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2023 2023年 2月10日(金) 静岡県沼津市
- (4)スポーツ推進委員リーダー養成講習会 未定

## 【協力事業】

1. 東京都(予定)
  - ① 東京都障害者スポーツ担当者研修会 未定
  - ② 障害者スポーツセミナー 12月17日(土) 港区スポーツセンター
2. 東京マラソン 2023年3月5日(日)
3. (公社)全国スポーツ推進委員連合
  - (1) 機関誌「みんなのスポーツ」の購読促進
  - (2) 「スポーツ推進委員手帳」「スポーツ推進委員ハ

ンドブック」の普及推進

- (3) シンボルマークのグッズの普及推進  
(ジャンパー・ポロシャツ・バッジ・ペンダント・ネクタイ・タイピン・ピンブローチなど)
- (4) 賛助会員としての協力促進
- (5) その他関連事項等

【その他】

- (公社)全国スポーツ推進委員連合理事会・総会  
6月2日(木)
- 関東スポーツ推進委員協議会理事会  
6月3日(金) 2022年2月 日( )

## 社員総会



## 令和3年度 第4回社員総会

令和4年3月23日(水)18時30分、武蔵野公会堂会議室にて定刻通り、第4回社員総会(以下、「同総会」と称す)が実施された。

まず新島会長から、本日、お集まりの皆さまの最後の社員総会(任期中)である事、そして、昨今、世界では大変な状況が続いていることを踏まえ、一日も早い平和な日常に戻る事を祈りつつ、国内においては引き続き「新型コロナウイルス新規感染者数」等に注視する重要性を話された。また、改めてコロナ禍での過去の活動を振り返り、皆さまのご協力を重ねて労いの言葉があった。

一方、東京2020レガシーとして、都民の約7割の方が「良い評価」を示しており、今後、我々はこの評価をしっかりと受け止め、更なる積極的な活動を心がける必要性を改めて共有された。

次に、公益財団法人東京都障害者スポーツ協会の柳橋千恵係長から、同協会が実施している様々な活動のご活動のお知らせがあった。

最後に、定足数の確認がなされ(出席32名、委任状12名 合計44名)、続いて議長の選任、議事録署名人が確認された。

同総会における議事は、以下の通りである。

### (1) 報告事項

#### 1) 理事会報告(山本委員長)

第8回(1月12日)、第9回(2月9日)、第10回(3月9日)に実施された理事会の報告があった。詳細は配布資料参照。

#### 2) 各委員会(各担当委員)

- 企画総務委員会(山本委員長)
  - ・配布議事録などを参照(第4回・第5回)
- 研修委員会(中村委員長)
  - ・配布議事録などを参照(第9回・第10回)
- 情報委員会(平野委員長)
  - ・配布議事録などを参照(第4回)
- 女性委員会(岡田副会長)
  - ・今年度を以て、発展的解消を決定し承認された。

#### 3) 財務報告(松田財務)

- ・特になし

#### 4) 地域スポーツ支援研修会(山本委員長)

- ・区部・市町村部(2月12日)リモート形式  
詳細は配布資料参照。参加者(ZOOM:スタッフ11名・一般参加者100名)。

テーマ:「パラスポーツと支援について」と題して、公益財団法人東京都障害者スポーツ協会の藤田勝敏スポーツ振興部長によって実施された講義の様子やアンケートの結果などの報告があった。

- ・全域(中止)

#### 5) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2022(新島会長)

- ・オンデマンド形式(詳細は配布資料参照)  
本来、沖縄で開催予定であったが、当日は、オンデマンド形式で実施された(いつでも視聴が可能)。

#### 6) 令和3年度関東スポーツ推進委員協議会第2回理事会(2月25日)(新島会長)

- ・配布議事録などを参照。オンライン形式。

#### 7) 障害者スポーツフォーラム(2月26日)

- ・リモート形式

#### 8) 東京マラソン(3月6日)(新島会長)

- ・都スポ協から今回も100名のエントリーをして頂き、無事に開催出来た。
- ・ただし、それに伴う作業が非常に煩雑であり、運用方法に工夫が必要。

#### 9) その他:東京都スポーツ振興審議会について(岡田副会長)

- ・3月25日に開催される当該審議会に都スポ協として、参加している事の共有がなされた。

### (2) 協議事項

#### 1) 令和4年度事業計画案(山本委員長)

- ・詳細は配布資料参照。令和4年度の社員総会・理事会などの予定が示された。
- ・全員一致で可決・承認。

#### 2) 令和4年度予算案(松田財務)

- ・詳細は配布資料参照。会費(人数)を1490名として予算を計上。(▲10名)

・収入の点に関しては、今後、企業様などから寄付を募るなど、今後の課題としたい。

- ・次年度は、事務所家賃の更新費用が発生しない。
- ・全員一致で可決・承認。

### 3) 令和4年度東京マラソン団体申込について(新島会長)

・「当初は、東京都から400名の応援要請が都スポ協に寄せられたが、時代と共にその役割をある程度終えたと考えている。現在は都スポ協も一般募集と同じ立ち位置であり、特に応援要請も受けていない。また、今回はワクチンパスポートも必須要件となり、応募された方も取りまとめを行う事務局も短期間での対応に苦慮したところである。このボランティアに関しては今後、各自の意思に任せて行う方が良いのでは」との問いが新島会長よりあり、参加者から、以下の意見が寄せられた。

#### 【新宿区】

現状維持を望んでいる(新人のボランティア研修の一環としての意味合いがあるため)

#### 【昭島市】

現状維持を望んでいる(他のスポーツ推進委員との連携などが出来て良かった)

#### 【練馬区】

今回限りでよい(ボランティアは、本来ご自身の意志が基本となるので)

様々な意見が出たため、今後都スポ協から各地区にアンケートを送り、それらを集約して、次回以降で更なる議論が出ればと考える。

### (3) その他

#### 1) みんなのスポーツ・スポーツ推進委員手帳等の購入について(山本委員長)

これまで通り、都スポ協を通じて購入をお願いしたい

### 2) その他

その後、才郷副会長によって閉会の辞が述べられ、終了時間は19時40分に散会した。

本会議における3密などの回避など十分な対策が講じられ、安全・安心して会議が実施出来た。

#### 当日の様子

##### <参加者の様子>



##### <会長挨拶>



##### <会場入り口の様子>



記事・写真 斎藤 利之 情報委員会(東久留米市)

## 研修会



## 地域スポーツ支援研修会【区部・市町村部】

令和4年2月12日(土)13時45分よりリモート会議(ZOOM)にて、令和4年度東京都地域スポーツ支援研修会(以下、「研修会」と称す)が実施された。

まず、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部 地域スポーツ振興担当課長 南友和様より、未だコロナ禍の影響が続く中、各区・市・町村部のスポーツ推進委員の皆さまのご活動に対し、改めて感謝申し上げられ、コロナ終息後には、更に活発な活動をされることを、心より期待している旨のご挨拶

等があった。

次に、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会 会長 新島二三彦より、この研修会は東京都と協力して、東京2020オリパラのレガシーとして、とりわけパラスポーツに対する理解啓発と、具体的な指導に十分な示唆を与える研修会になることを確信しているとの説明があり、開会の挨拶を行った。最後に司会より本日の詳細なスケジュールを説明された。

リモート受講者：100名／講師：1名／東京都：1名  
／運営委員：9名

### 【研修会内容】

<講演：13:50～16:05>

テーマ：パラスポーツと支援について

講師：(公社)東京都障害者スポーツ協会 スポーツ振興部長 藤田 勝敏様

概要：前半：パラスポーツの歴史や東京パラリンピック(1964年)の紹介

後半：3障害(身体障害・知的障害・精神障害)に関する説明

事前に配布された資料は、76シートにも及ぶものであったが、講義本番では、更に動画や写真など、追加された資料があり、非常にボリュームのある講義がなされた。

まず前半では、グッドマン博士や中村裕医師が、今日のパラスポーツ(パラリンピック)の礎を築かれた功績など詳細に説明され、且つ、これまで聞いたことの無い新しい情報なども追加されており、パラスポーツの発展における背景など、コンパクトにまとめられていた。

そして後半では、まず身体障害の中の「聴覚障害」次いで「視覚障害」さらに「肢体不自由」と、現場での経験をもとに、経験者しか分からないような(非常に細かな視点から)より具体的な支援の在り方を教示された。また、時折、写真などを活用し、その根拠となる部分に関して詳細な説明があった。

更には、片麻痺などの方が実際に泳いでいる様子などの動画も織り交えながら、動作の特徴や注意すべき点など、より具体的な事例を基に説明があった。次に、「知的障害」そして「精神障害」さらに「内部障害」の説明が続いたが、どれも支援するときのポイントを押さえつつ、どのようなコミュニケーションをとるべきなのか、または取った方が良いのかなど、様々な観点から考察がなされた。

最後に、開始時間の遅延もあり、質疑応答の時間を取る事が出来なかった事は、非常に残念ではあるが、

参加された100名近い方々は、より多くの情報を得ることが出来、今後のスポーツ推進委員の活動に大いに役立ったと思われる。

<閉講式：16:10>

閉会の辞を、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会 企画総務委員長 山本博志が行い閉講した。



記事 斎藤 利之 情報委員会(東久留米市)  
写真 加来 剛 情報委員会(豊島区)

## 研修会



## 生涯スポーツ・体力づくり全国会議2022

生涯スポーツ・体力づくり全国会議2022が、昨年に続きコロナ禍のため、今年は初めてのオンデマンド形式(2月14日～2月28日の間、いつでも何回でも視聴できる)で開催されました。全体テーマは『「スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life」から新たなるスポーツ基本計画へ向けて』で、私は全体会と第1分科会に参加しました。

全体会では策定中の「第3期スポーツ基本計画」の

概要についてのトークセッションが、第1分科会では学校部活動の地域移行についてのパネルディスカッションが行われました。

■全体会「みんなで考えよう!これからの日本におけるスポーツの在り方～新たなるスポーツ基本計画の策定に向けて～」

スピーカー：①室伏広治様(スポーツ庁長官)、②大

田拓弥様（アトランタ五輪レスリング銀メダリスト／中央大学レスリング部コーチ）、③津下一代様（女子栄養大学特任教授）、④玉城絵美様（琉球大学教授）

【概要】第3期スポーツ基本計画（答申素案）の概要、ポイントなどを中心に、指導者に求められる資質、スポーツと医療との連携、スポーツとDXとの連携などについて意見交換が行われた。室伏長官から最後に、第3期計画の実行には連携が必要であり、協力をお願いしたいとのコメントがあった。

■第1分科会「ポストコロナのスポーツ推進システムを模索する～地域スポーツの危機と学校運動部活動の連携をめぐる可能性～」

コーディネーター：柳沢和雄様（武庫川女子大学健康・スポーツ科学部教授/（公社）全国スポーツ推進委

員連合専務理事）。パネリスト：①松永敬子様（龍谷大学経営学部教授）、②神谷 拓様（関西大学人間健康学部教授）、③松田雅彦様（大阪教育大学附属高等学校平野校舎主管教諭）

【概要】働き方改革の一環として学校部活動の地域移行が始まる。クラブの地域移行は二度失敗に終わっているとして、三度目となる今回の成功に向けた課題について議論された。また、事前に集められた質問について、各パネラーからのコメントがあった。

【コーディネーターのまとめ】出口のない議論となることを承知で進めてきた。第3期計画にあるが国も答えを持っていない。三度目となる今回が失敗にならないように祈りたい。

記事 会長 新島 二三彦



## 東京マラソン2021

昨年10月17日開催予定だった「東京マラソン2021」は新型コロナウイルス感染者を抑えるため、2022年3月6日に延期され開催となりました。

2020年はエリートランナーのみ、2021年は2022年への延期となり開催されず、一般ランナーが参加できるのは3年ぶりとなります。

参加者には新型コロナウイルスの陰性証明が求められ、我々ボランティアにも、開催前後の体調申告を行うことが義務付けられる中、エリートランナーとともに19,188名の一般ランナーが春先の暖かい陽光を浴び、東京の街中を走りました。

ボランティアも参加者同様募集数を減らし、体調管理ソフトへの登録・マスクの着用・3密の回避・手指の消毒・ランナーより直接ごみを受け取らない、などの注意事項を守った上での参加となり、「応援、観戦はお控えください」というカードを持って沿道に立つという、ウィズコロナにおける安全な運営を大会主催者と共に行う一翼を担うこととなりました。一般ランナーへの声を出しての声援の自粛が求められたのですが、ランナーの中には沿道ボランティアに「ありがとう」と声を掛けてくれる方、頭を下げてくださいる方がいたり、ボランティアとして参加して良かったと感じました。



記事・写真 加来 剛 情報委員会（豊島区）

#####  
編集後記

今年度も新型コロナウイルスの影響を受けた一年となってしまいました。感染者数の増減により研修会も対面形式になったりオンラインでの開催になったりと、随時対応を迫られる一年でした。来年度も様々な状況に対応できるように事前の準備が必要となってくることとされます。そのような状況の中でも2020東京大会が無事行われ、先日東京マラソンも3年ぶりに一般参加者を含む形で開催されました。少しずつ動き出してきた社会と共に、来年度が新たなスタートの一年となることを願っています。

最後に情報委員会の皆様2年間ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

編集 平野 秀夫 情報委員会(江戸川区)

#####